

学校だより **本荘** 2023 *Smile*

令和5年度 第4号
令和5年4月13日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

入学式の準備、1年生のための設営、4、5、6年生の奮闘。



これらの写真は、入学式準備の様子です。御覧の通り、本荘小の体育館まわり、式会場、渡り廊下、1年生教室で子どもたちが一生懸命に働いていました。この準備は、入学式の前日11日の午後から、1年生を迎えるために4、5、6年生によって行われていたのです。すべて、新しく入ってくる1年生15人を迎えるためです。6年生がリーダーシップをとりながら、準備を進めてくれました。4、5、6年生は、すべて1年生担任の大田絢子先生の教え子です。それは、準備にも力が入るというものです。でもそれだけではありません。このように自分以外の誰かのために行動することは、誠実な人柄を育て、思いやりの心をより磨いていくのです。人をお迎えするために奔走するということは、それだけ、相手のことを大切にすることなのです。「御馳走(ごちそう)」という言葉があります。この言葉の語源は、本来、「走り回ること」「奔走すること」を意味しています。昔はお客の食事を用意するために馬を走らせ、食材を集めたことから「馳走」が用いられ、さらに走り回って用意するところから、もてなしの意味が含まれるようになったそうです。(裏面へ)

本荘小では、「笑顔と誠実さと思いやりの心あふれる子ども」を育成するために、職員一同、「笑顔と誠実さと思いやりの心あふれる教師」を目指しています。その中で、「笑顔と誠実さと思いやりの心あふれる学校」を目指しています。つまり、子どもも先生も、自分以外の誰かのことを考えて行動しております。ご家庭でも、ぜひ思いやりの心について話し合ってくださいと思います。
(校長)

校長先生の虫眼鏡 「カメさんも6年生になります。」

6年教室にいるカメさんです。福嶋先生よりも3年も早くこの教室でくらしているそうです。6年生と同じ年に本荘小に来たらしいです。同級生ですね（笑）この学校の主になるくらい長生きするかもしれませんね。

